

処方データ解析によるGE変更状況調査

流通問題検討委員会

2022年3月

処方データ解析による処方変更状況調査 1

薬局におけるGE調剤の状況を把握することを目的として、

本部にてデータが抽出できる薬局の処方データを用いて、2020年8月～2021年1月末と、2021年8月～2022年1月末の期間において、処方変更状況の前年比較調査を行った。

■ 調査 1「薬局におけるGE調剤の状況を把握する」の考え方

- ① 8月以降の最初に調剤した処方データを1回目とする。
- ② 患者と処方された医薬品データを、「患者ID+YJ9桁」として紐づける。
- ③ 同患者IDに対する2回目の処方があった場合に、②との比較を行い、異なれば、同一規格、同一成分でのメーカー変更と判断する。この時点で、「患者ID+YJ9桁」を更新する。
- ④ ③において変更があった場合に、YJコードより「先発」「後発」を判別し、判別結果を「先発→先発」「先発→後発」「後発→先発」「後発→後発」のパターンでカウントを行う。
- ⑤ 調査期間範囲における、以降の処方時にも、②～④の作業を繰り返し行う。
 - 調査方法の特性上の注意点：8月を1回目の処方とカウントし、それ以降を2回目、3回目とカウントしていくため、8月よりも9月の方が件数が大幅に増えてしまう。9月と10月を比較すると増え幅はなだらかになり、調査期間を長く設定すれば影響は小さくなる。また、前年同月比較であれば影響はない。

■ 調査 1 の調査期間

2020年8月～2021年1月末と、2021年8月～2022年1月末

調査 1 解析結果

前年比で「先発→後発」151.1%、「後発→後発」332.3%となり、薬局におけるGE使用促進の努力が解析結果からも見て取れる。一方で、「後発→先発」が前年比489.4%となっており、供給不安定や患者意向の変化等によるマイナス影響が大きいことが伺える。

	2020年度							2021年度						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
先発→先発	506	1,758	2,450	2,393	2,892	2,916	12,915	620	1,112	1,745	2,258	3,230	3,383	12,348
先発→後発	4,627	17,166	24,920	23,073	34,221	33,152	137,159	6,219	20,869	34,875	44,408	53,358	47,475	207,204
後発→先発	1,479	4,383	6,967	7,582	9,795	9,555	39,761	4,423	23,092	36,020	42,753	47,276	41,014	194,578
後発→後発	2,059	10,450	20,513	25,893	31,803	45,087	135,805	7,600	46,064	85,478	100,244	109,888	101,995	451,269

	前年比						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
先発→先発	122.5%	63.3%	71.2%	94.4%	111.7%	116.0%	95.6%
先発→後発	134.4%	121.6%	139.9%	192.5%	155.9%	143.2%	151.1%
後発→先発	299.1%	526.9%	517.0%	563.9%	482.7%	429.2%	489.4%
後発→後発	369.1%	440.8%	416.7%	387.1%	345.5%	226.2%	332.3%

調査 2

薬局において後発→先発に変更されている先発医薬品の抽出を目的として、
調査 1 のデータを用いて、2021年11月～2022年1月末の直近3ヵ月の期間における変更頻度順のリストを作成した。

■ 調査 2「後発→先発に変更されている先発品抽出」の考え方

- ① 調査 1 の2021年11月～2022年1月末のデータを用いる。
- ② ①の期間内に「後発→先発」に変更された先発処方データを抽出する。
- ③ ②で抽出されたデータを処方回数の多い順に並べリストを作成する。
- ④ ③で作成されたリストの中で、「GE加算等における算定対象から除外する品目（0921事務連絡）」及び「新除外リスト」に該当する品目に印をつける。

■ 調査 2 の調査期間

2022年4月以降の除外品目を検討する上での参考データとしていただくため、2021年11月～2022年1月末の直近3ヵ月を調査期間とする。

調査 2 「後発→先発」となった先発医薬品リスト (1-25)

2021年11月～2022年1月の期間に、後発医薬品から先発医薬品に変更となった件数順に、先発医薬品名リストを作成した。

No.	YJ9桁	2021年度11月～1月 「後発→先発」と なった件数	2020年度11月～1月 「後発→先発」と なった件数	先発薬品名	旧除外リスト有無 ^{*1}	新除外リスト有無 ^{*2}
001	2139008F2	5247	23	ダイアート錠30mg	-	-
002	3112006M2	3411	220	エディロールカプセル0.75μg	-	-
003	2329027F1	3169	18	プロマックD錠75	-	-
004	2233002F2	2987	103	ムコダイン錠500mg	-	-
005	3222013F1	2756	36	フェロミア錠50mg	-	-
006	2183005G1	2545	15	ベザトールSR錠200mg	-	-
007	3339950M1	2467	1990	ヒルドイドソフト軟膏0.3%	-	-
008	3339950Q1	2147	1407	ヒルドイドローション0.3%	-	-
009	1249009F1	2082	40	ミオナール錠50mg	-	○
010	2649735S3	1714	676	ロキソニンテープ100mg	-	-
011	2139008F1	1662	4	ダイアート錠60mg	-	-
012	2329023F1	1529	90	タケプロンOD錠15	-	○
013	1179042F1	1353	11	セロクエル25mg錠	-	-
014	2319001M1	1347	13	ロペミンカプセル1mg	-	○
015	1169101F1	1316	26	ネオドパストン配合錠L100	-	○
016	2329028F1	1288	77	パリエット錠10mg	-	-
017	4490017R1	1275	63	オノンドライシロップ10%	○	○
018	2149117F1	1259	15	ミカムロ配合錠AP	-	-
019	3999021F1	1161	21	エビスタ錠60mg	○	○
020	3122007F2	1157	20	25mgアリナミンF糖衣錠	-	-
021	6219001H1	1142	12	アザルフィジンEN錠500mg	-	-
022	4490026F1	1098	46	キプレスチュアブル錠5mg	-	-
023	2329012M1	1096	94	セルベックスカプセル50mg	-	-
024	1124007F2	1032	76	ハルシオン0.25mg錠	○	○
025	1139004G2	1020	26	デパケンR錠200mg	-	-

▶ *1 20210921後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて_厚労省保険局医療課事務連絡の別添2算定対象から除外する品目リスト

▶ *2 20220304後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて_厚労省保険局医療課事務連絡の別添2算定対象から除外する品目リスト

調査 2 26-50

2021年11月～2022年1月の期間に、後発医薬品から先発医薬品に変更となった件数順に、先発医薬品名リストを作成した。

No.	YJ9桁	2021年度11月～1月 「後発→先発」と なった回数	2020年度11月～1月 「後発→先発」と なった回数	先発薬品名	旧除外リスト有無	新除外リスト有無
026	2190006M2	981	24	ユベラ Nソフトカプセル 2 0 0 m g	-	-
027	1179039F1	921	8	デプロメール錠 2 5	-	○
028	3999016M1	908	25	リウマトレックスカプセル 2 m g	-	-
029	1149019F1	842	535	ロキソニン錠 6 0 m g	-	-
030	1249010F1	839	10	テルネリン錠 1 m g	-	○
031	1124029F1	809	32	メイラックス錠 1 m g	-	-
032	3999027F1	789	28	ビビアント錠 2 0 m g	-	-
033	1129009F1	782	106	マイルスリー錠 5 m g	○	○
034	2171014G4	767	54	アダラート C R錠 2 0 m g	-	-
035	1149037F1	764	182	セレコックス錠 1 0 0 m g	-	-
036	2649729S3	757	621	モーラステープ L 4 0 m g	-	-
037	2329021F1	752	404	ムコスタ錠 1 0 0 m g	-	-
038	1124023F1	731	107	ソラナックス 0. 4 m g 錠	-	-
039	2251001F2	727	10	テオロン錠 1 0 0 m g	-	-
040	3112001F2	724	7	ワンアルファ錠 0. 5 μ g	-	-
041	2123016F1	697	42	メインテート錠 2. 5 m g	-	-
042	2491001F6	679	368	カルナクリン錠 5 0	-	-
043	1179043F1	661	4	ルーラン錠 4 m g	-	○
044	2133001F1	657	44	アルダクトン A錠 2 5 m g	-	-
045	2233002F1	620	74	ムコダイン錠 2 5 0 m g	-	-
046	1179025F2	612	19	デパス錠 1 m g	-	-
047	6149003F2	611	50	クラリシッド錠 2 0 0 m g	○	○
048	3112001M2	605	7	ワークミンカプセル 0. 5	-	-
049	6250002F1	601	0	ゾビラックス錠 2 0 0	-	-
050	2239001F1	590	36	ムコソルバン錠 1 5 m g	-	-

*1 20210921後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて「厚労省保険局医療課事務連絡の別添 2 算定対象から除外する品目リスト

*2 20220304後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて「厚労省保険局医療課事務連絡の別添 2 算定対象から除外する品目リスト

調査結果

前年比で「先発→後発」151.1%、「後発→後発」332.3%となり、薬局において、新規変更や、供給状況に応じてブランドを変更する等のGE使用促進の努力が見られる結果となった。一方で、「後発→先発」489.4%となり、供給不安定や患者意向の変化等によるGE使用割合へのマイナス影響が大きいことが伺える。また、月次推移から、このような状況が改善されていないことが分かった。

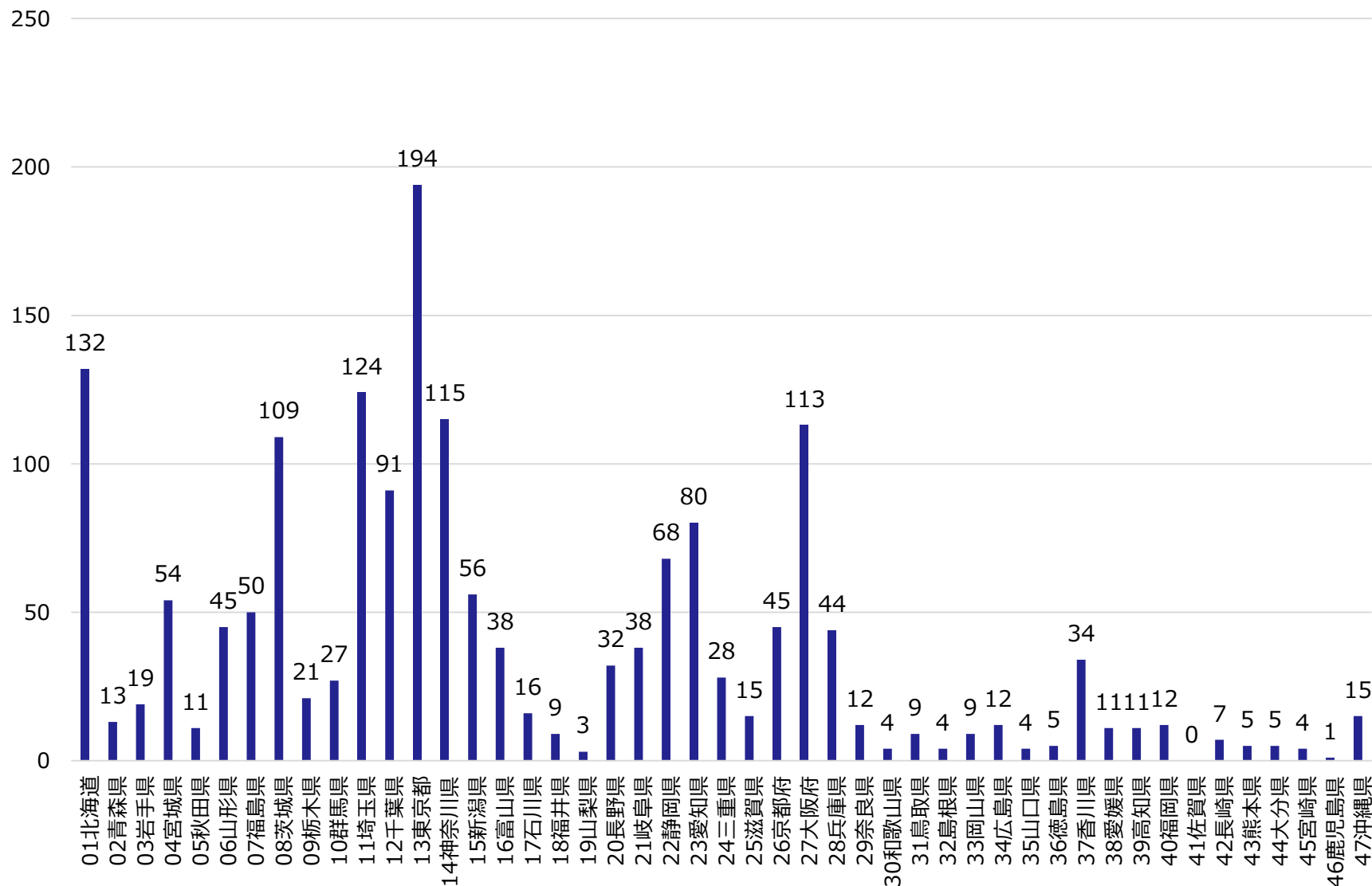
※「後発→先発」となった先発医薬品リストについて、過去から現在にかけて長い期間、供給不安定となっている品目、先発も供給不安定となり、処方変更をしなければならない品目は、上位に抽出されないため注意が必要である。

0304事務連絡^{*}にて、算定対象から除外する品目が倍増となっているが、本調査リストの上位の中にも、対象となっていない品目もあり、引き続き、除外品目の影響に注視したい。

▶ ^{*} 20220304後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて_厚労省保険局医療課事務連絡

調査対象薬局分布

■ 都道府県分布 (N=1,754)

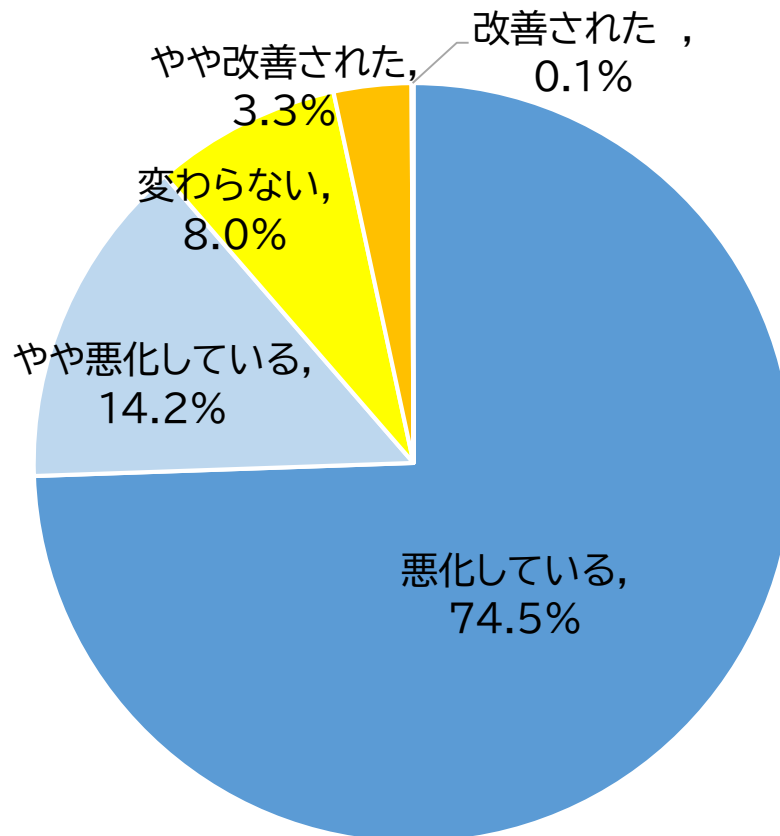


參考資料

後発医薬品の流通状況

昨年6月時点と比較して現在の状況はさらに悪化している。

2021年6月時点と比較した現在の後発医薬品の流通状況 (N=4787)

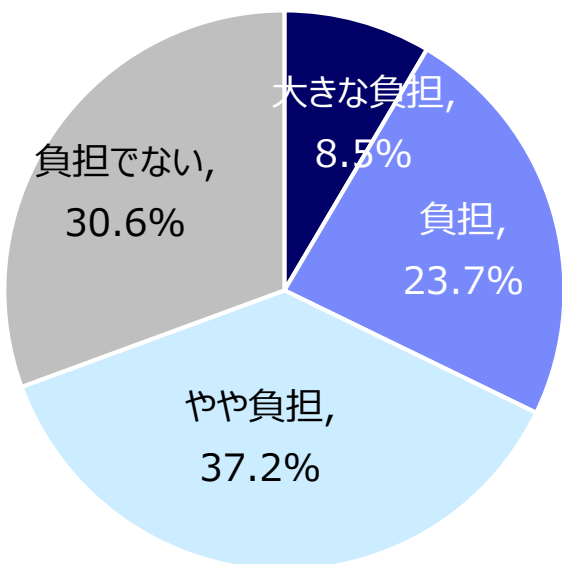


後発医薬品の推進にかかる負担

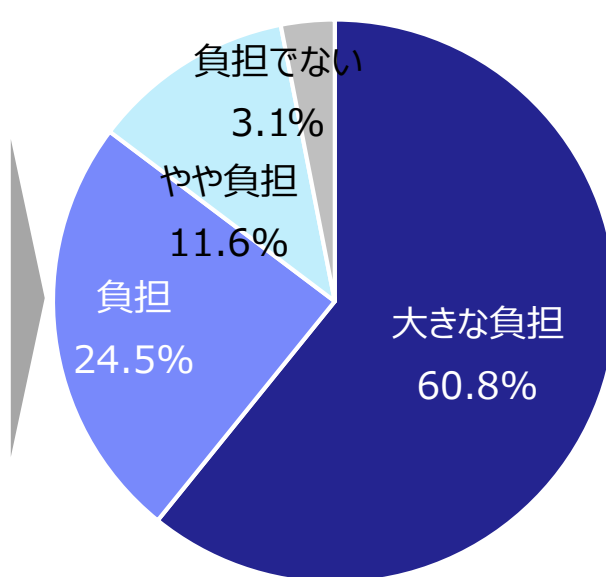
後発医薬品の推進にかかる負担が大きくなっている。

現在の後発医薬品調剤割合を維持するための負担について (N=4787)

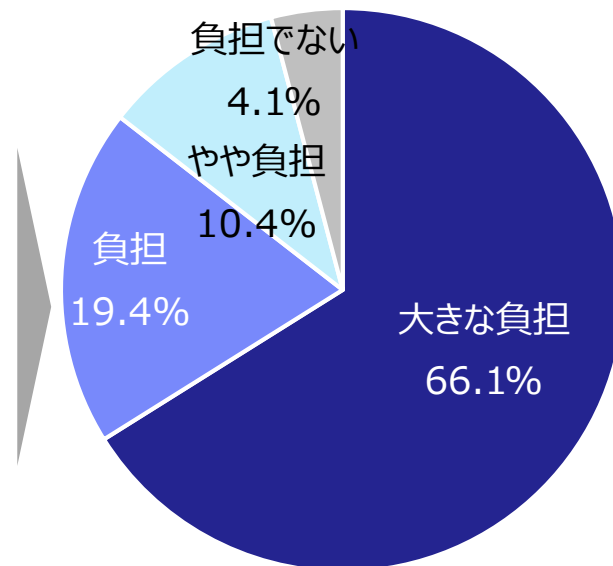
■ 2020年7月 N=3,881



■ 2021年8月 N=5,232



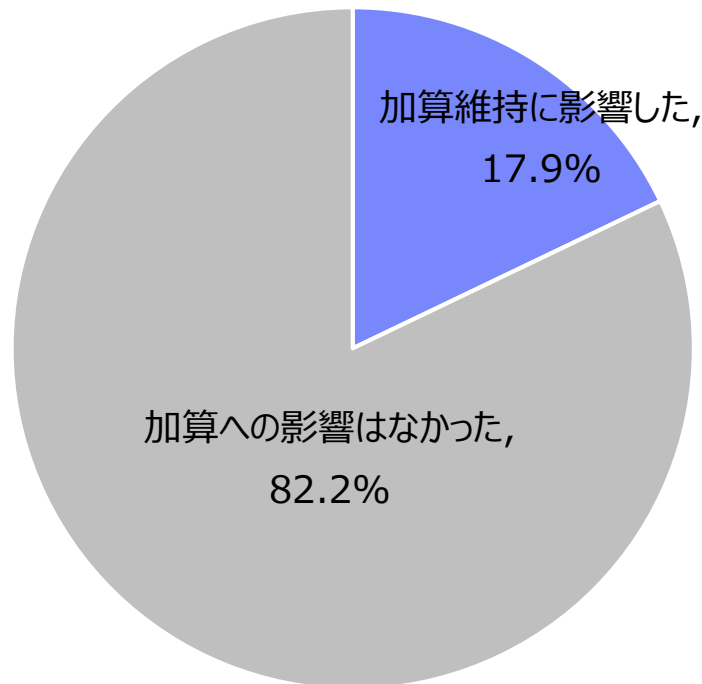
■ 2022年1月 N=4,787



9月21日事務連絡「臨時的な取り扱い」

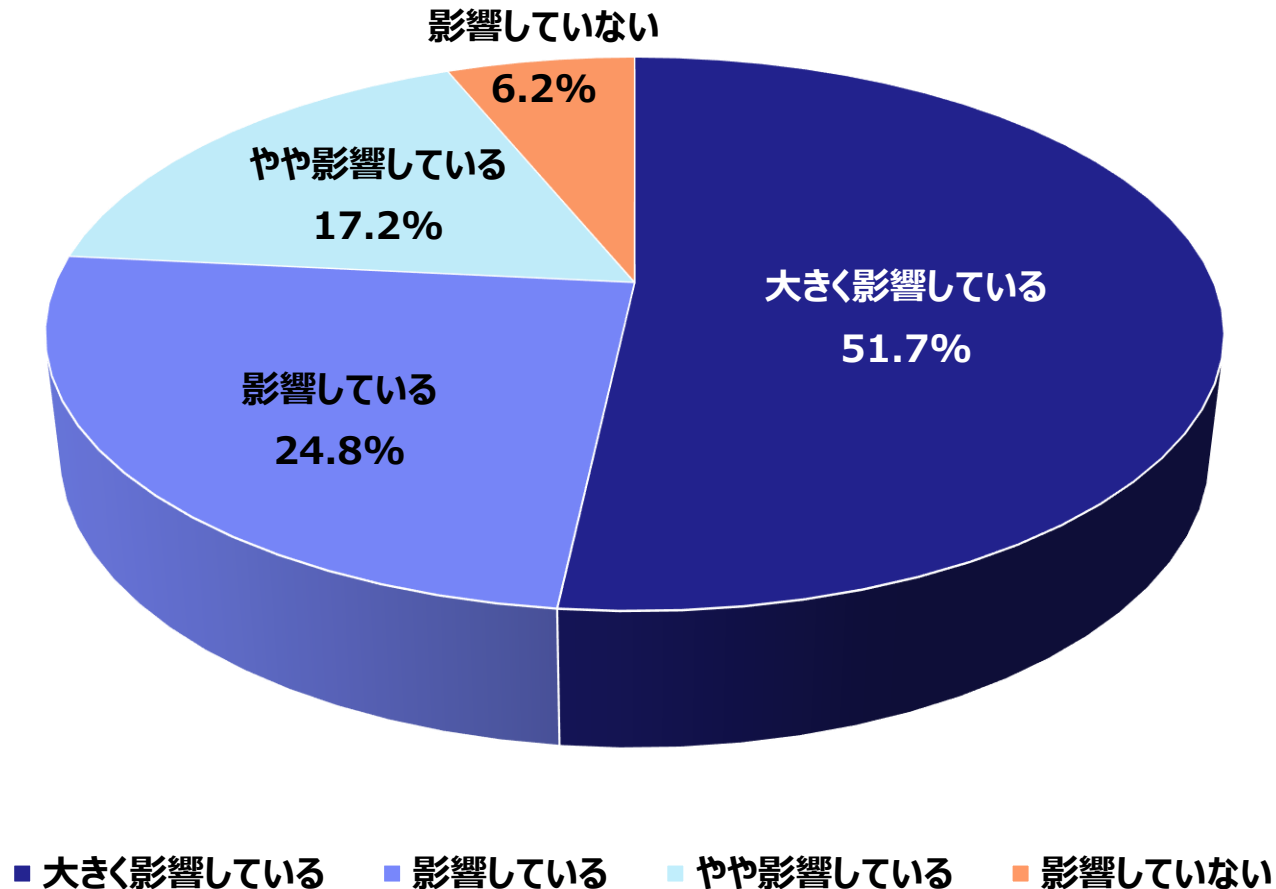
9月21日事務連絡「臨時的取り扱い」によって加算が維持された薬局は17.9%に上る。

後発医薬品の使用割合の算出において27成分・1025品目を除外する臨時的な取扱い
(9月21日事務連絡通知)による後発医薬品調剤体制加算へ影響について (N=4787)



後発医薬品の自主回収や出荷調整への影響について

後発医薬品メーカーの違反などに伴う相次ぐ自主回収や出荷調整は、後発医薬品調剤割合のマイナス要因として影響していますか？（N=5232）





Nippon Pharmacy Association

日本保険薬局協会